

カリキュラム

(A)バックオフィス 新技術活用	データサイエンス入門
---------------------	-------------------

コースのねらい	ビジネスに展開するためのデータの活用方法を理解し、データサイエンスを活用するための分析手法を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 データサイエンス概論	(1) データサイエンスの概要と役割 ・データサイエンスとは何か、その定義を明確にし、ビッグデータ時代における統計学、情報工学など、様々な領域の手法を用い有意義なデータを引き出すためのデータサイエンスの概要と役割について背景を踏まえて解説する。 (2) データサイエンティストの重要性 ・データサイエンティストの仕事の内容や役割、必要なスキルについてビジネスや社会に与える影響を事例を交えて説明する。これにより、データ活用の背景と必要性を理解し、データサイエンスの基本的な概念を理解する。 (3) データサイエンスを活用したビジネスの事例紹介 ・具体的なビジネス活用事例を基に良し悪しを考察し、ビジネスに活かすためのポイントや条件について自身の環境と比較しながら整理し、ビジネスの成長に不可欠である理由を理解する。 【演習1】自社の課題と指標となるデータの整理演習	2.0
	2 データリテラシー	(1) データ理解、解釈、分析 ・データサイエンスにおいて必要不可欠なスキルであるデータリテラシーのデータを読み、紐解き、利用・活用・応用する能力について、一般的なビジネスパーソンに求められるレベルについて解説する。 (2) 統計解析を用いたデータ分析基礎 ・データ分析基礎として、統計解析手法だけでなく、実用するための分析対象の問題の本質や分析手法の理解、分析結果に対する判断力を演習を通して理解する。 【演習2】データ分析の基礎演習	2.0
	3 データサイエンスの手法	(1) データ分析のためのデータの取得と管理 ・データ分析に必要な情報を的確に収集してデータ選別するポイントを解説し、分析の精度を左右するデータの品質を確保するための管理やデータを効率的かつセキュアに管理するポイントについても考察する。 (2) 記述統計・推測統計 ・統計学には、大きく分けて2種類あり、あるデータを集めて、表やグラフを作り、平均や傾向を見ることでデータの特徴を把握する「記述統計」と、一方、母集団からサンプルを抜き取って、そのサンプルから母集団の特性を推測し、それが正しいかどうかを検定する「推測統計」について解説する。 (3) 機械学習 (AI) ・生成AI AIの基礎技術となる機械学習について物体を判断する時の事例のプロセスを見ながら説明する。 ・機械学習の仕組みと手法、構築に必要なスキルについて説明する。 ・昨今話題の生成AIの仕組みと出来ることを解説・実演し、ご自身の活用イメージを具体化させる。 【演習3】データ分析とその結果を基にした行動計画演習	2.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
働く環境の変化や日本の現状、DXの最新動向を理解した上で、業務上の課題を念頭に置き、データサイエンスを活用する具体的なイメージとプロセス・知識の習得を図ります。一方的な知識ではなく、双方向や演習を通じて、現場で実践活用できるようになるための演習を挟みます。理解および知識としての吸収をしやすくするために動画や、実際のAIのデモを使用した解説やツールの実演も行います。 ・業務に活用できるツール(ChatGPT等生成AIツール)の動きをその場で受講者に見てもらい、活用方法についての理解を深めてもらいます。 ・受講者自身が抱えている課題とデータ活用事例が紐づくように演習を実施し、最終的に現場で活用できるアウトプットを目指します。

講師から一言
DX時代の競争力はデータで決まります。ビジネス課題を解決するための分析手法を身につけ、未来の成長を支えるスキルを習得しましょう。